

Smilink Camp2014 キャリア教育プログラム概要

平成 26 年 8 月 30 日

Upple 代表 原水 敦

- (1) キャンプの名称：アースマイルキャンプ
- (2) 参加人数：福島県在住の小中学生 18 名
(南相馬市 11 名、福島市 4 名、郡山市 1 名、いわき市 2 名)
北九州市内在住の小学生 13 名
- (3) 実施日：平成 26 年 8 月 4 日～8 日 (SmilinkCamp2014 は 8 月 1 日～9 日)
- (4) 内容

①交流会

8 月 1 日～4 日に実施したホームステイの家族、アースマイルキャンプ参加者と家族との交流会を開催。交流会では、ハンバーガー専門店（モスバーガー）の提供で、ハンバーガーづくりを体験。また、焼きうどん研究所の提供で、小倉発祥焼うどんづくりの体験を行った。

②税のお話、仕事体験

8 月 4 日夜、アースマイルキャンプ初日に、公益社団法人八幡法人会の企画で、「税のお話」「仕事体験」を実施。税のお話では、税に関するアニメーションを見た後に意見交換。税金がない世界とある世界の比較を行いながら、税金の大切さについて学んだ。また、仕事体験では、3つの仕事を体験。仕事は、パティシエ、フラワーアレンジメント、美容師。専門家が講師となり、それぞれの仕事を体験しながら、夢についての語りあいを実施した。

③エコバスツアー

8 月 6 日終日、北九州市内の企業見学をエコバスツアーと題して実施。行き先は、(株)安川電機、エコタウン。(株)安川電機では、会社見学と共に、昼食をとりながら、会社の社員との交流を実施。福島出身の方との交流も実現した。また、エコタウンにおいては、環境未来都市北九州の環境に対する取り組みの紹介と共に、リサイクル企業、太陽光等の次世代エネルギーを研究する工場の見学を行った。

④夢の授業

期間中のミーティングで、参加者の夢を考える時間をとった。ワークショップ形式で実施。まずは学生スタッフへ「夢のインタビュー」を実施。その後、参加者全員で「わくわくするとき」をまとめた。そして最終的には、25歳の自分をイメージして、なりたい自分を色画用紙に自由に描き、最終日には、それを実現するための1歩を参加者全員の前で発表した。

(5) 感想（その時に出た感想をまとめました）

- ハンバーガーづくりが楽しかった。
- お菓子づくりが楽しかった。パティシエの仕事に興味をもった。
- お花づくりがよくできた。（できた花はその後も水をあげながら維持し、福島まで持ち帰った）
- 安川電機のロボットがすごかった。
- 同じいわき出身の人と話ができて嬉しかった。
- 夢をかなえるために、帰ってからがんばりたいと思う。

(6) 課題

- 学年に幅（小1～中1）があったので、体験の内容、振り返りの焦点の当て方が難しかった。
- 天候不良もあって、見学、体験、振り返りの、「体験」の部分において、自然を身近に感じる体験（自然体験）が十分にできず、本来の目的としていた持続可能な地球を残すためのキャリア教育プログラムは十分にはできなかった。
- エコバスツアーが天候不良のため、次世代エネルギーの工場見学がバス内からの見学になってしまい、身近に感じることはできなかった。